

【別紙】女川2号機における「火災防護対策工事」の状況について

「火災防護対策工事」の概要

➤ 火災防護対策工事は、発電所内で万一火災が発生した場合に、火災発生箇所と同一の区画にある設備や電線管が損傷しないよう、断熱材などの耐火材でラッピングするとともに、ラッピングによる重量の増加を踏まえ、必要に応じて耐震補強を行うもの。

【例：現在実施している電線管のラッピング工事】

「火災防護対策工事」の実施状況

➤ 今般、火災防護対策工事において、現場状況に応じた電線管のルート変更に伴い増加した工事物量や、当該工事の完了に向けた確認作業で工事が必要と判断した設備と電線管の工事物量を踏まえ、工事対象の電線管の総延長と工事箇所数が確定し、これにより、火災防護対策工事の工期が遅れる見通しとなったことから、安全対策工事の完了時期をあらためて精査している。

		工事対象の電線管 (総延長)	電線管の 工事箇所数	耐震補強工事の 箇所数
計 画	①前回(安全対策完了時期の見直し) (2023年9月28日公表時点)	300メートル	42カ所	150カ所
	②今回	430メートル	52カ所	評価中
実績	③これまでの工事実績 (2023年12月末時点)	240メートル	31カ所	149カ所
	④今後の工事物量(②-③)	190メートル	21カ所	評価中